

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 2 8 日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 6 番 井上 佳郎

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が 2 以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・ 質問番号 1 の用紙にだけご記入ください。
- ・ 質問が一つだけの場合は必然的に 1 となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 1) 発 言 事 項	高島市内の並木道の保全管理について
要 旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	
令和 7 年 8 月に高島市今津町弘川地先(今津宮の森公園付近)を走行中の一般車両に街路樹の枝が落下し、幸いにも運転手の方の怪我等は無かったものの、車両に大きな破損を生じる事故が発生しました。 この街路樹は高島市が管理する街路樹で適正な管理が出来ていなかったことに起因するものでした。 高島市では海津大崎の桜並木(日本のさくら名所 1 0 0 選)・湖西の松林マキノ～今津(日本の白砂青松百選)・萩の浜(日本の渚百選)・マキノ高原のメタセコイア(新・日本街路樹 1 0 0 景)と並木道に関する 1 0 0 選に 4 か所が選ばれています。 他にも新旭地域の湖岸道路沿いの桜並木や朽木のさくらと呼ばれる安曇川沿いの桜並木等、高島市内にはさくら並木や松並木が多数存在し、並木道は市民の憩いの場や観光客が立ち寄る場所でもあります。 しかしながら、昨年 of 車両事故の例のとおり、適正な保全管理が行われなければ、安心して市民や観光客が立ち寄れる場所であり続けることは困難	

と考えます。

高島市の管理する街路樹を含めた、並木道の保全管理について以下の通り問います。

- ① 海津大崎の桜も老木となっていており、ボランティア団体が並木の保全管理をされていますが、どのような支援や連携をされているのか。
また、海津大崎以外にも新旭の湖岸道路の桜並木もボランティア団体による保全活動をされています。同様にどのような支援や連携をされているのか。

ほかにも高島市内には桜の名所がありますが、保全活動に対する助成等の支援は出来ないのか。

- ② マキノ～今津及び萩の浜の松並木は令和7年度に滋賀県・高島市とも琵琶湖岸松並木保全事業により、枯れた松の伐倒や薬剤の樹幹注入を実施されましたが、今後の松並木の保全についてどう取り組むのか。

- ③ メタセコイア並木は当時のマキノ栗園が台風被害を受け、道路沿いに防風林として整備された経緯があります。

このメタセコイア並木は「マキノのメタセコイア並木を守り育てる会」が並木道の維持保全活動を行われていますが、どのような支援や連携をされているのか。

又、メタセコイアは成長が早い利点があるが、寿命も短いのも特徴で、寿命が約50年といわれています。この並木道が生まれたのが昭和56年ですので、数年後に樹勢が衰えてくる時期になります。メタセコイア並木は防風林から始まった並木道ですが、今では観光道路としての要素も大きくなっています。早急な保全活動が観光客誘致の上でも必要と考えるが見解を問う。

④ 並木道の保全については専門家である樹木医の意見を参考に保全活動に取り組むべきと考えるが見解を問う。

又、高島市民の「並木道を守り育てる」機運の醸成が必要と考えるが、行政だけで取り組むのは難しいと考えます。

「産・官・学」の連携が必要と考えるが見解を問う。